

\*前期比：D I・季節調整済

景況

今期の業況判断DI値は前期予想通り-46、実績に比べると3ポイント悪化する結果となりました。売上、収益、資金繰りは前期予想通り改善しましたが、業種別で木材・木製品製造業、その他製造業、食料品製造業が大幅悪化したため、全体の業況を悪化させることになりました。設備投資については、機械設備の新・増設を中心に前期に比べ11ポイント増加し、21%の先が実施となりました。

来期の予想業況判断DI値は-46と横ばいで推移すると予想し、引き続き売上、収益、資金繰りは改善すると予想しています。設備投資については、機械設備の更改を中心に今期に比べ10ポイント減少し、11%の実施と予想しています。

調査員のコメント

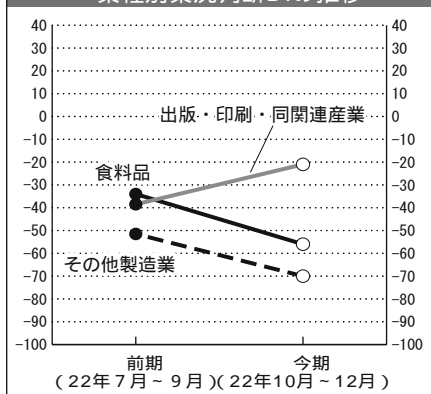
■不景気の中、卓越した技術力により一定の売上を確保しているものの、代金回収状況が悪化傾向になり、資金繰りは苦しい。

(シート・テント製造業)

■顧客の食品に対する嗜好が多様化し、現状の売上を維持するのが一杯である。小額の売上から如何に利益を生み出すかを日々思案中。

(パン製造業)

業種別業況判断DIの推移



経営上の問題点

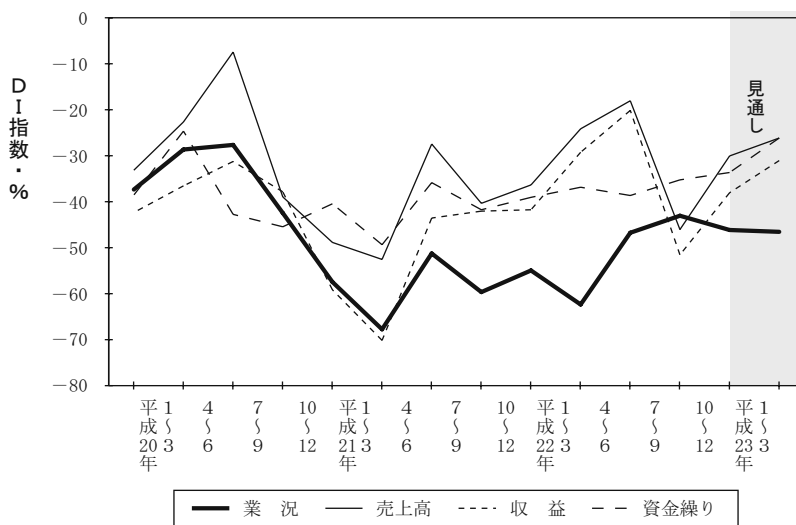
1位	売上の停滞・減少(1)	63%
2位	利幅の縮小(2)	37%
3位	同業者間の競争の激化(3)	32%

当面の重点経営施策

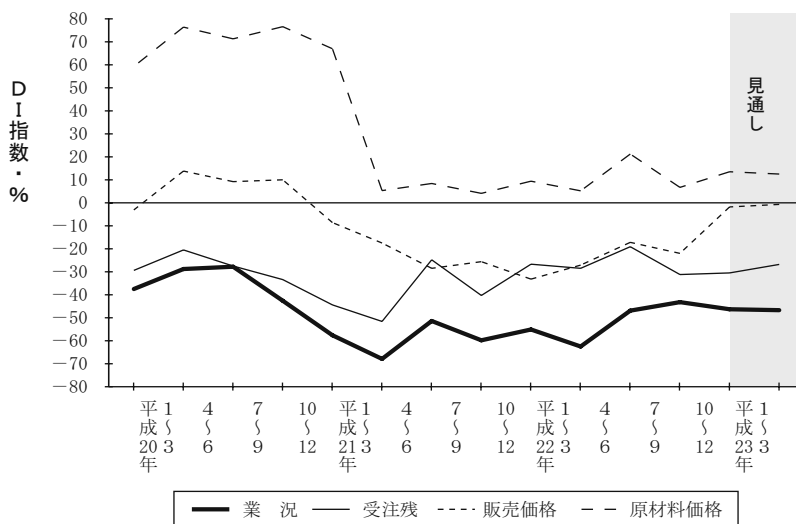
1位	販路を広げる(1)	61%
2位	経費を節減する(2)	52%
3位	情報力を強化する(3)	34%

\*( )は前回順位

景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況

